

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 23日

中施策事業名	景観形成事業（屋外広告物）	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	伊藤 信司
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	屋外広告物		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	良好な景観が形成されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 景観行政 ・ 屋外広告物		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
違反広告物の除却 件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	10	10	5	5	5	0
	実績値	3	1				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
	② 補助金等 (収入)				40千円	40千円
③ コスト (①－②)				-40千円	-40千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				-1 円	-1 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画通りに事業を進めることが適当 除去件数実績は1件ではあるが、街の違反広告物が少ないことを意味しており、市内の良好な景観環境が形成されていると評価した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	違反屋外広告物のパトロールを定期的に行い、発見した場合は、違反広告物の除却と共に広告主に注意喚起を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	継続して実施することが必要。他業務で現場に出る時も違反屋外広告物に注意を払う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 17日

中施策事業名	空家等対策事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	伊藤 信司
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	適正に管理されていない空家等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	特定空家等に該当するかどうかの判定を行い、是正指導を実施し、特定空家等の解消を図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 空家等対策協議会 ・ 空家対策一般 ・ 空家対策に係る国費・県費補助		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
特定空家等の件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	1	1	1	1	1	0
	実績値	1	2				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				1,421千円	1,969千円	
	a 事業費合計			1,421千円	1,969千円	2,600千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				1,047千円	939千円	1,875千円
③ コスト (①－②)				374千円	1,030千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				5 円	15 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画通りに事業を進めることが適当 特定空家の認定を新たに1件増やしたが、行政代執行により解体することが決まり、その準備を整えることができた。 もう一つの特定空家については、引き続き適正管理の指導を行っている。 また「豊明市空家等対策計画」に「豊明市マンション管理適正化推進計画」を盛り込むことができた。これにより、管理不全に陥る分譲マンションを未然に防ぐことを目標にする。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	特定空家1件について、行政代執行による解体を無事に終わらせることを目指す。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・令和9年度に「豊明市空家等対策計画」の計画期間が終わるため、次期計画策定のために、令和8年度に空家等実態調査業務を行う。 ・空き家の取組に対するNPO法人等の民間との連携を構築するため、空家等管理支援法人制度の活用に関する市の方針を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	都市計画道路整備事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している		
②大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする		
③中施策	市内外の移動がしやすくなるように、道路交通網を整備する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の幹線道路である都市計画道路を整備され、市内交通の利便性が向上している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・都市計画道路の計画及び調整 ・補助幹線道路の整備 ・都市計画道路の見直し、都市計画道路の設計施工及び監督 ・都市計画道路の用地取得 ・用地買収地管理 ・用地買収地の目的外使用 ・高規格道路の連絡調整 ・豊明インターチェンジの整備拡充 ・第二東名高速道路高架下の利用 ・都市計画事業に伴う土地の試掘等の許認可事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
都市計画道路整備率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	78.3	78.3	78.3	78.3	78.3	0
	実績値	78.3	78.3				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				426千円	3, 523千円	
	a 事業費合計			426千円	3, 523千円	23, 406千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				426千円	3, 523千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				6 円	51 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 県道名古屋岡崎線の豊明中央工区が、進められているので、その進捗に合わせ、道路予備修正設計を令和5年度に行ったが、県道の名古屋岡崎線の警察協議が遅れたため、繰り越しを行い、業務を行っていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和6年度は、県道名古屋岡崎線に接続する、市道桜ヶ丘沓掛線、市道大根若王子線の道路予備修正設計業務と用地調査業務委託を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和7年度以降は、市道桜ヶ丘沓掛線、市道大根若王子の用地買収、移転補償を実施し、工事へと進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 都市計画道路交通量等調査	内容、理由、時期等 市全体の交通量を調査し、都市計画道路の見直しを行い将来像の整理をする。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 17日

中施策事業名	市営駐車場管理運営事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する		
④中施策事業の対象	駐車場を利用する市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	駅前の駐車場の利用環境を整備することで利用台数を増やし、間接的に公共交通機関の利用を促進する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 駐車場法に係る届出の受理及び監督 ・ 市営駐車場一般事務 ・ 市営駐車場修繕等事務 ・ 市営駐車場料金徴収事務全般		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用台数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
	実績値	22,996	23,424				
単位	台						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				8,862千円	2,377千円	
	a 事業費合計			8,862千円	2,377千円	2,336千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			5,128千円	0千円
③ コスト (①－②)			3,734千円	2,377千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				54 円	35 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 令和4年度から、市内2か所の月ぎめ駐車場（前後駅南月ぎめ駐車場、豊明駅南月ぎめ駐車場）のみの営業となっている。 令和3年度をもって市営駐車場と地下駐車場が廃止となり、令和4年度は撤去工事費及び公債費の支払いが発生したことにより一時的にコストが増加したが、令和5年度は通常の事業実施が図れたため令和4年度と比較してコストは減少している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	稼働率100%を維持し、利用環境の整備に努めることで利用者の満足度を高める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	月ぎめ駐車場の維持管理を適正に行い、利用者の満足度を高める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 17日

中施策事業名	緑化推進事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	公園や道路に設置された花壇やプランター		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	花を植栽し、憩いと安らぎのある環境をつくりだしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・あいち森と緑づくり事業 ・ボランティア(花・アダプト) ・ペガサス財団との調整 ・二村山環境保全推進協議会 ・花壇維持補修修繕 ・花壇維持管理委託 ・グリーンフェスタ開催 ・種苗生産事業補助金 ・花いっぱい運動補助金 ・市民緑地 ・地域一括交付金 ・緑の募金 ・緑化コンクール ・緑の基本計画策定 ・開発指導要綱の緑地に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
フラワーボランティアが花壇に植えた花苗の数量	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	18,000	18,000	19,000	19,000	19,000	19,000
	実績値	15,868	21,682				
単位	苗						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				5, 105千円	3, 919千円	
	a 事業費合計			5, 105千円	3, 919千円	7, 296千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				3, 099千円	1, 405千円
③ コスト (①－②)				2, 006千円	2, 514千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				29 円	37 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 フラワーボランティア等の協力により公園の花壇に花苗の植え替えを実施した。また、春にフラワーフェスタ、秋にグリーンフェスタを開催し、緑化木の配布をしたり、ハンギング講習会を実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	6 5 公園の管理を指定管理者が行ってから 2 年が経過したが、令和 6 年度も引き続き、協力し合い、ボランティアの育成及び募集を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	フラワーボランティアの新規会員の増加を、指定管理者とともに増加を図っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 23日

中施策事業名	公園緑地管理事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	日常生活の中で自然を実感できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	公園、緑地		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設や樹木が適切に管理され、市民に安心安全な潤いのある空間を提供している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・二村山緑地整備事業 ・公園施設維持管理業務（点検・修繕・工事） ・樹木剪定草刈委託 ・維持管理委託 ・公園の光熱水費、通信費、手数料、保険料、負担金 ・土地借上げ ・公園台帳 ・占用許可、公園内行為許可、公園使用料 ・非常勤一般職員		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
樹木剪定や草刈りをした公園・緑地の箇所数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	65	65	66	67	68	0
	実績値	66	66				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				131, 719千円	126, 994千円	
	a 事業費合計			131, 719千円	126, 994千円	130, 489千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				1, 166千円	0千円
③ コスト (①－②)				130, 553千円	126, 994千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 897 円	1, 845 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 65公園の都市公園の管理が指定管理者になって2年が経過するが、引き続き適正に管理されているか監視を実施し、利用者へのサービス向上の施策を指定管理者と協議した。二村山緑地、西大根市民緑地、仙人塚市民緑地は、職員がパトロールを実施し、適切な管理を行った。 特に勅使水辺公園、大蔵池公園及び三崎水辺公園は、市または指定管理者が主催するイベントを開催し、賑わいの創出と花や緑に触れ合う機会を設けた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指定管理者が適正に管理しているか監視を実施し、利用者へのサービス向上施策を指定管理者と協議するとともに、賑わい創出のためのイベントを引き続き実施する。また、二村山緑地、西大根市民緑地、仙人塚市民緑地に加え、館西公園は職員がパトロールを行い、適正な維持管理を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者と協力し、都市公園の管理をしていく。引き続き、指定管理による公園等の利用者からの意見聴取の結果に基づいた利用者へのサービス向上の施策を指定管理者と協議していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	都市計画事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	都市計画に関する現状が整理され、適正な都市計画が進められている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・都市計画の決定、変更 ・都市計画マスタープラン ・都市計画基礎調査 ・都市計画審議会 ・立地適正化計画		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市街化区域内の人口（百人未満切上げ）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	54,500	54,500	54,500	54,500	54,500	0
	実績値	52,500	52,500				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				4,676千円	16,476千円	
	a 事業費合計			4,676千円	16,476千円	9,950千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				4,676千円	16,476千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				68 円	239 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画通りに事業を進めることが適当 第4次豊明市都市計画マスタープランのプロポーザル（案）の準備を終えることができた。 また、豊明市立地適正化計画における新たな誘導施策を設けることができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・引き続き第3次豊明市都市計画マスタープランに沿って事業の推進を図る。 ・第4次豊明市都市計画マスタープラン策定に必要なデータ整理を行う。 ・間米南部地区及び防災拠点地区（藤田学園）に対し、適切な都市計画を定める。 ・居住誘導区域への誘導施策を関連事業をもって検討する。 ・豊山周辺地区は、引き続き事業の実現に向けて検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・第4次豊明市都市計画マスタープラン策定に取り掛かる。また、策定に併せて第3次豊明市都市計画マスタープランの最終年度の評価も実施する。 「豊明市立地適正化計画」と「緑の基本計画」を都市計画マスタープランに組み込み計画を策定する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) ・都市計画事業の認可みなし制度 ・地籍調査事業	内容、理由、時期等 ・インフラの老朽化に係る改修費用に都市計画税の充当ができるよう認可をとり整備していく。 ・道路や水路等と接する部分の境界について測量を行う。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 25日

中施策事業名	土地区画整理事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市民及び転入者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民及び転入者が住み続けたいと感じるような市街地が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 住居系新市街地整備（寺池地区） ・ 住居系新市街地整備（間米南部地区） ・ 都市構造再編集中支援事業（まち交）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
土地区画整理事業によって整備された市街地の面積（市全域）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	358.68	358.68	358.68	364.61	0	0
	実績値	358.68	358.68				
単位	ha						
新たに住居系の土地利用が可能となった区域の都市計画決定面積	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	26	26	26	26	0	0
	実績値	26	26				
単位	ha						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				54, 467千円	265, 940千円	
	a 事業費合計			54, 467千円	265, 940千円	750, 000千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				54, 467千円	208, 940千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				791 円	3, 036 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 寺池地区は、計画通りに事業が進んでおり、令和5年度はトヨタホームと正式に保留地の売買契約を締結するとともに、造成工事は概成し円滑に事業が推進されている。 間米南部地区は、令和5年12月に仮換地を指定し、保留地の売買契約の締結及び令和6年度からの工事着工に向けた準備が進められている。 都市構造再編集中支援事業は、令和5年度も交付申請に対し満額の補助金が交付され、各事業を進められている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	寺池地区は、令和6年度から事業の結了に向けた事業計画の最終変更や換地計画の作成を行うため、組合を指導・監督していく必要がある。 間米南部地区は、令和6年度から本格的に工事着手するため、地区内外の住民へ十分な説明を行うなど、組合及び業務代行者を指導・監督していく必要がある。 都市構造再編集中支援事業は、目標を定量化する指標の変更協議及び区画整理の事業計画変更に伴う都市再生整備計画の変更を実施する必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	寺池地区は、事業の円滑な実施に向けて引き続き組合を指導・監督する。 間米南部地区は、令和7年度が補助金交付の最終年度のため、事業の遅延がないように組合及び業務代行者を指導・監督する。 都市構造再編集中支援事業は、交付最終年度のため、事後評価に取り組む。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 23日

中施策事業名	住宅・建築物耐震化促進等安全ストック形成事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	伊藤 信司
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて家庭での準備を促す		
④中施策事業の対象	旧基準の住宅・建築物		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	大地震が発生しても倒壊しないよう住宅・建築物の耐震化を図る		
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	・建築防災一般 ・住宅・建築物の耐震診断・改修 ・住宅・建築物の耐震化促進に係る普及・啓発 ・宅地耐震化推進事業 ・建築防災に係る国・県補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
耐震改修工事補助件数（H27年度からの累計）国・県の補助事業が令和7年度まで	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	98	105	112	119	126	0
	実績値	62	66				
単位	件						
啓発活動累計回数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	40	45	50	55	60	0
	実績値	40	45				
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10,894千円	29,003千円	
	a 事業費合計			10,894千円	29,003千円	11,433千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				8,167千円
③ コスト (①－②)				2,727千円	6,765千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				40 円	98 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画通りに事業を進めることが適当 啓発活動として、①耐震ローラー作戦、②耐震診断相談会、③DM送付、④グリーンフェスタ、⑤日進市合同勉強会を実施した。 また、緊急輸送路の通行を妨げる恐れのある耐震性が確認できない建築物の除却を補助金を活用していただき、達成することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	耐震改修促進計画の中間目標である令和7年度に耐震化率95%に向けて、現状値89%から如何に取り組むを行うか検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	国費、県費の拡充の有無を確認し、現状の補助制度の見直しを検討する。 既存の宅地の安全性を確認調査する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 住宅・建築物安全ストック形成事業	内容、理由、時期等 国費県費の拡充に合わせて、市の補助金制度の拡充を行う。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 13日

中施策事業名	定住促進関連事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	伊藤 信司
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	子育て世帯、又はその親世帯		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	子育て世帯とその親世帯が同居または近居することで、子育てしやすい環境づくりが図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・多世帯同居等補助事業 (多世代同居・近居に係る固定資産税相当額一部補助)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助申請のうち、 市外からの転入件 数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	35	35	35	0	0	0
	実績値	38	15				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				17, 095千円	15, 443千円		
	a 事業費合計			17, 095千円	15, 443千円	18, 000千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			17, 095千円	15, 443千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				248 円	224 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B:制度の見直し検討をする。 市外からの転入者件数が目標値達成ができなかった。 申請者アンケート結果から、本制度によって親・子世帯でふれあう機会が増えたというご意見が多数ある一方で、本市で住宅を取得するきっかけになっていると言い切れない結果から、定住促進事業として役割が果たしているか疑問が残る。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	立地適正化計画の誘導施策に変えて、新しい補助制度を検討する。 多世帯同居等補助事業の終了を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新制度策定と多世帯同居等補助事業終了の周知を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) まちなか定住促進補助金事業	内容、理由、時期等 立地適正化計画の居住誘導区域への定住を促し、また子育て世帯を誘導できる施策をつくる。令和9年度予定
今後、休廃止する事業	事業名 豊明市多世代同居・近居に係る固定資産税相当額一部補助金事業	内容、理由、時期等 新制度創設に伴い、定住促進関連事業全体に見直しのため(令和7年度から順次縮小、令和8年度まで)

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 23日

中施策事業名	公園施設整備事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
③中施策	身近に安心して遊べる場所を整備する		
④中施策事業の対象	公園		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	老朽化した公園施設の改修や新たな公園整備により、市民が憩える場所が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・公園施設改修事業 ・社会資本総合整備事業、市町村土木補助事業 ・公園・緑地の 用地買収		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
改修工事を実施した公園の数（累計）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	7	8	9	10	11	0
	実績値	7	8				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				33,060千円	68,708千円		
	a 事業費合計			33,060千円	68,708千円	175,304千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				6,600千円	6,153千円
③ コスト (①－②)				26,460千円	62,555千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				384 円	909 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 長田公園のリノベーション工事を行った。 ふるさと豊明応援寄付金（クラウドファンディング）を活用し、三崎水辺公園の整備のための詳細設計を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	安心安全な公園であるために、丸ノ内公園のリノベーション工事や、改修工事を実施予定である。また三崎水辺公園の改修工事を、令和7年度末の完成に向け、進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和6年度から実施する三崎水辺公園の改修工事完了を目指すとともに、善波公園のリノベーション工事を行う予定としている。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 公園施設長寿命化計画策定事業及び公園再整備事業	内容、理由、時期等 予防保全型の管理に移行し、公園施設の計画的な修繕や改修に取り組むとともに、2haを超える地区公園レベルの公園を再整備し、人口減少社会の中で定住促進に繋がるような公園管理が必要である。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 18日

中施策事業名	工業団地整備事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	市民及び転入者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民及び転入者が働きたいと感じるような産業用地が確保されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 柿ノ木工業団地整備 ・ 都市計画提案制度		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
産業用地確保に取 組む面積	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	62	62	62	62	0	0
	実績値	62	62				
	単位 h a						
地権者の合意状況	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	85	85				
	単位 %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				20,339千円	9,991千円	
	a 事業費合計			20,339千円	9,991千円	18,895千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				20,339千円	9,991千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				296 円	145 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 柿ノ木工業団地は、都市計画道路名古屋岡崎線の道路整備と連携協力しながら円滑に事業を進めることができた。 豊山周辺地区は、都市計画提案制度を想定したまちづくりガイドラインを策定し、引き続き民間開発の誘導を進めている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	柿ノ木工業団地は、引き続き都市計画道路名古屋岡崎線の道路整備と連携協力し、地元住民の生活への影響を最小限に抑えながら円滑に事業を実施する。また、令和6年度は、柿ノ木開発事業負担金として、愛知県企業庁及び愛知中部水道企業団へ負担金を支出する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	柿ノ木工業団地は、令和7年度の方譲地引渡しを目指して愛知県企業庁とともに引き続き円滑に事業を実施する。また、開発区域外で生じる市負担の工事施工分として、令和7年度は愛知県企業庁へ負担金を支出する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等